

大人が絵本を

第80回 コロナ禍のいま



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子*

小児歯科医師 濱野 良彦**

* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)
** 医療法人元気が湧く 理事フアウンダー

子どもの権利は子どものものです!!

ミステリー小説かドラマかと見まがうほどに信じがたい事件が報道されました。小学生以下3兄弟の母親が、ママ友のマインドコントロール下におかれ、5歳の三男を餓死させるという痛ましい虐待が明るみになったのは、福岡県篠栗町で起こった事件です。人の弱さ脆さに覆われた大人と、また醜いまでの独占欲の強さを持つ大人、2人の異様な心理メカニズムによって、守られるべき幼いのが奪われたのです。

子どもは、大人と同様の一人の人間であるため、その人権を認めて、成人するまでの子ども期に必要な成長や教育、保護などに関する権利が、子どもの権利条約で定められています。1989年の国連総会で採択されたこの条約を、日本も1994年4月に批准しました¹⁾。それから27年が経過しているのですが、条約の4つの柱である「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」「参加する権利」が日本で根付いているとは言えず、特に児童虐待は19年連続で児童相談所の対応件数が最多を更新しているほど、深刻な社会問題となっています²⁾。

篠栗の餓死事件はそれを露呈するもので、5歳男児の「尊い人間としての権利」が日常的に剥奪されていたのです。十分な食事を与えられず、幼稚園通園を阻まれて、とうとう「生きる権利」を奪われてしまったのです。そんな暮らしをしていた子どものことを思うと、心が苦しく張り裂けそうになります。

Withコロナ、子どもの権利は守られていますか？

世界中を脅かしている新型コロナウイルス感染症

が拡大した昨年春、国連子どもの権利委員会は、各国に対し、子どもたちの権利を保護するよう求める声明を発しました。コロナ禍によって子どもから奪われるものを想定し、国や社会は何を大切に歩むべきかを11項目にまとめた「COVID-19に関する声明」です^{3,4)}。緊急事態宣言および義務的ロックダウンを発令した国々において、多くの子どもたちが身体的、情緒的および心理的に重大な影響を受けているとして、子どもの権利を尊重するよう促したのです。

いかなる環境下にいようとも、守られながら自分らしく生きる権利をすべての子どもたちが持っているのです。子どもの権利条約前文に明記されている通り、「子どもはその成長に合わせて、大人から特別な支援を受ける資格を持っています」¹⁾。大人には何があっても子どもの権利を尊重し、守る義務があるのです。

絵本で発信！子どもの権利

国連子どもの権利委員会から出された「COVID-19に関する声明」が絵本となりました。コロナ禍において、子どもの権利条文の前提となる基本原則「子どもの最善の利益」「差別の禁止」「生命および生存・発達の権利」「意見を聞かれる権利」をそのままに尊重するものです。

絵本のタイトルは『子どもの権利と新型コロナ』、子ども向けの“やさしい日本語”に訳して発行したのは、佛教大学准教授の長瀬正子氏です。

国連の声明が2020年4月8日に発せられると、子どもの権利について発信を続けている福岡県出身の平野裕二氏が、英語の原文を翻訳してウェブで公開しました。平野氏のサイトで声明の日本語訳を読んだ長瀬氏は、「自分の置かれている状況を理解し、頭

手にするときは！

考える「子どもの権利」

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

『子どもの権利と新型コロナ』
長瀬正子 やさしい日本語訳
momo イラストレーション
(ちいさなとびら)



が整理されていくのを感じた」と言います。そして、「子どもも知っていたら、それを自分だけで引き受けず、社会の側にその背景をみて困難を乗り越える知恵となる」と考えて研究者仲間とともに、中高生にも分かる簡単な日本語に訳してSNSやブログで紹介したことが絵本の発端となります⁵⁾。

すると、長瀬氏らの訳文を読んだ方々から「低年齢の子どもも読めるよう、もっと分かりやすい日本語を！」との声になり、それが絵本の誕生となったのです。

『子どもの権利と新型コロナ』

“子どもと家族の小さな図書館”。私たちの施設名「絵本と図鑑の親子ライブラリー」と似ていて、親近感の湧く名称です。“子どもと家族の小さな図書館”とは『子どもの権利と新型コロナ』の著者で、佛教大学社会福祉学部で社会的養護を専門としている長瀬正子准教授が運営するサイト「ちいさなとびら」のキャッチフレーズです。

「絵本が、言葉にならない気持ちを受けてもらう媒体として…、自分の思いを代弁してもらう存在として…、世界を理解する手がかりとして…、そうした絵本を紹介しながら、社会的養護、子どもと家族のありようについて発信していきたい」と、立ち上げられたweb図書館なのです⁵⁾。

本書の初版は2020年9月なのですが、私の手元にあるのは2021年2月25日発行の第4版です。初版

の発行から、読者の声をもとに内容検討が重ねられ、半年の間に4回の改訂が行われるほど、子どもの権利を尊重する姿勢が前面に見られる絵本です。

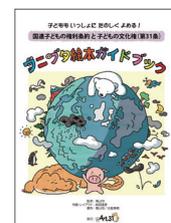
本書における長瀬氏の責任表示は、「やさしい日本語訳」となっています。阪神・淡路大震災で日本語を母語としない方に必要な情報が届かなかった反省のもとに生まれた、ユニバーサルデザインとしての表現が「やさしい日本語」であると知り、「子どもにやさしい」のみならず、より多くの人にとって分かりやすい日本語という視点で、声明の言葉を再度推敲して発行されたのが第3版です⁶⁾。

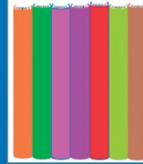
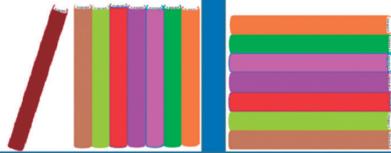
絵本の製本は、背表紙のない中綴じの書き込み式ワークブックタイプで、著者の努力により自費出版で改訂が重ねられています。それが多くの方の目に止まり、反響に応える形で今夏、ハードカバーとなって、ひだまり舎から出版されることが発表されました。

ワニとブタが語る子どもの権利

コロナの時代に子どもの権利条約に関する子どもと大人のための絵本は、長野県からも発行されています。『ワニとブタ絵本ガイドブック』のタイトルと、ブタが地球を持ち上げた表紙絵は、ちょっと楽しそう目を引きまします。かわいいワニとブタのキャラクターが案内してくれるので、より小さな子どもにも絵で語るができます。

『ワニとブタ絵本ガイドブック』
増山均、大屋寿朗 著作
前田達彦 作画
(Art. 31)





作成したのは、国連子どもの権利条約第31条の普及活動を行う団体「子どもと文化のNPO Art.31」です。第31条は、子どもの「心の活性化」「魂の躍動」を保障する権利と訴えます⁷⁾。福岡市で生まれ育った同法人の大屋寿朗代表は、「緊急事態の時にこそ、大人は子どもの声に耳を傾け、尊重する姿勢を忘れてはいけない。子どもたちにも、当たり前を持っている自分の権利について興味を持ってもらえれば」と話しています⁸⁾。

新型コロナに学ぶ「子どもの権利」

コロナ禍に出版された子どもの権利を考え直す絵本は、「世界中の子どもたちが、子ども時代を自分らしく健康的に、安心して豊かに過ごせるために必要な権利」をウイルスに脅かされている実情が手に取るように理解できるのです。

すべての子どもは、あらゆる差別を受けない権利を持っているのですが、感染が拡大した昨年の4月以降、医療従事者の子どもが保育施設から登園を拒否されたり、差別的な扱いを受けたりする事案が発生しました。保護者の仕事の都合で生活が一変した子どももいます。

最初の緊急事態宣言発令よりも前に発表された全国一斉休校要請は、首相と側近に限られたメンバーによる決定のもと議事録もないままに、2020年2月27日に言い渡されました。子どもに影響を及ぼす決定であったはずが、当の子ども意見「聞かれる権利」は尊重されませんでした。その上、子どもたちに直接理由を説明しないまま、長いステイホームとなったのです。

あわせて、「子どもの最善の利益」にも影響を与えているのです。「子どもにとって一番良いことを決めるときには、子どもの意見を尊重すること」が3条で保障されています。国の機関や学校、親の都合を子どもに対して勝手に押し付けることがないように守られているのです。ところが、突然襲ってきた

非常事態に対して大人が「子どもにとって、最も良いことは何かを考えた」結果の休校措置でしたが、子どもの権利からみると、果たして守られていたと言えるのでしょうか。

学校が長期の休校になったことは、「生命および生存・発達の権利」にも影響を及ぼしました。社会の中で自分の能力を発達させるために、また身体や心の成長発達のために医療や教育などを受けることが保障されているにも関わらず、大切な進級、進学の際の教育を受けることができなかったのです。

子どもの声を聴く

大災害や、未知のウイルスに襲われたとき、いのちを最優先にした防災措置が取られることは当然です。しかし、今までに体験したことのない非常事態をどう防御すべきか窮地に立たされた大人は、子どもを守ることを最優先に置くがために、「子どもの権利」を棚に上げてしまっている実態があります。緊急事態に対処するとき、「子どもにとって一番良いこと」と、大人の解釈で進みがちということを2冊の絵本が教えてくれました。

いま、子どもの権利について改め直すときではないのでしょうか。コロナ禍以前の2017年に出版された、大人にも分かりやすい絵本を紹介します。「子どもだけでなく、おとなのための普及啓発書」として推薦されている『はじめまして、子どもの権利条約』は、スウェーデンのチャーリー・ノーマン氏が描いたイラストを動機づけとして、大人と子どもに問かける絵本です。

本書のはじめには、「イメージを広げ、子どもたちの置かれている現状に心を寄せ、子どもたちの声に耳を傾けてみてください」と大人に対して呼びかけられています¹⁾。子どもの基本的なニーズを満たしていない大人の行動に気付かされるのです。

コロナの時代に、本書の姉妹本が登場しました。2020年9月に発行された『はじめまして、子どもの

『はじめまして、子どもの権利条約』
川名はつ子 監修
チャーリー・ノーマン イラスト
(東海教育研究所)



『権利条約ワークブック』は、大人と子どもと一緒に
なって子どもの権利を考えるテキストです。

絵本にみる「子どもの権利」

創作絵本の中にも、子どもの権利を考えるテーマ
のものがたくさんあります。紙面の許す範囲でご紹
介しましょう(※当館蔵書より紹介しますが、出版社在庫品切
重版未定につき、図書館などで探してください)。

『かさをささないシランさん』(谷川俊太郎、アムネス
ティインターナショナル作、いせひでこ絵; 理論社)子どもたち
に、国際人権 NGO アムネスティの活動を伝える。
「子どもの意見の尊重」(12条)を考えます。

『夢につばさを一世界中の子どもたちに』(こやま峰
子作、葉祥明 絵; 金の星社)開発援助団体フォスター・ブ
ランの60周年記念で出版された絵本。「教育への権
利」(28条)、「休息・余暇、遊び、文化的・芸術的生
活への参加」(31条)、「経済的搾取・有害労働からの
保護」(32条)のメッセージがあります。

『ウェズレーの国』(ポール・フライシュマン 文、ケビン・
ホークス 絵; あすなろ書房)学校では変わり者とされて
いたウェズレーが、夏休みの自由研究で「自分だけの
文明」を作るお話。「思想・良心・宗教の自由」(14
条)が映し出されています。

『たからものはなあに?』(あいだひさ 作、高林麻里 絵;
偕成社)実際に養子を迎えた作者が語る「養子縁組」
(21条)がテーマの絵本です。

『妖怪バリアーをやっつける』(三島亜紀子 文、三島エツ
コ 絵; 生活書院)実話に基づかれて、2001年にWHOが
発表した「障害」の概念を示した絵本。「障害のある
子どもの権利」(23条)を示しています。

『やめて!』(デイビッド・マクフェイル 作・絵、柳田邦男

訳; 徳間書店)争いのない未来への願いをこめて描かれ
た一冊。すべての暴力に対して「NO!」と訴えるの
は、「子どもの意見の尊重」(12条)、そして「武力紛争
における子どもの保護」(38条)でしょう。

『わかってほしい』(MOMO 作、YUKO 絵; クレヨンハウ
ス)父親に虐待を受けていた作者の思いが詰まった絵
本。短い言葉と突き刺さってくる絵に、「親による虐
待・放任・搾取からの保護」(19条)が伝わります。

絵本というメディアを通して、「子どもの権利」の
真髓を考えることができるのです。子どもを守るた
めの大人の行動が、実は子どもの権利を侵害してい
ることにハッとさせられます。そのことに気付くこ
とが大切です。そして、改め直すことが重要だと思
います。

コロナ禍に、「子どもの権利」の尊重を意識したと
き、子どもたちの声に耳を傾け、子どもにとって最
善の利益を考慮した育成支援を進められるのだと考
えます。それは小児歯科医療の信念と同じなのです。

文献

- 1) 川名はつ子 監修, チャーリー・ノーマン イラスト: は
じめまして、子どもの権利条約, 東海教育研究所, 東京,
pp.3-7, 2017.
- 2) 児童虐待19年度19万3000件 全体、増加数とも最多、厚
労省, 日本経済新聞, 2020年11月18日朝刊.
- 3) The Committee on the Rights of the Child: The Committee
on the Rights of the Child warns of the grave physical,
emotional and psychological effect of the COVID-19 pandemic
on children and calls on States to protect the rights of
children, UNITED NATIONS HUMAN RIGHTS TREATY
BODIES, <https://tbinternet.ohchr.org>, 8 April 2020.
- 4) 国連・子どもの権利委員会, 平野裕二 訳: 新型コロナ感
染症(COVID-19)に関する声明, ARC 平野裕二の子ども
の権利・国際情報サイト <https://w.atwiki.jp> 2020年4月8日
- 5) 長瀬正子: ちいさなとびら, HP <https://chisanatobira.exblog.jp>
- 6) 国連・子どもの権利委員会, 平野裕二 訳, 長瀬正子 や
さしい日本語訳, momo イラストレーション: 子ども
の権利と新型コロナ, ちいさなとびら, 京都, 巻末, 2021.
- 7) 増山均, 大屋寿朗 著作, 前田達彦 作画: ワニブタ絵本
ガイドブック, Art.31, 長野, pp.16-23, 2020.
- 8) 今こそ 子どもの権利 条約をわかりやすく
NPOが絵本, 朝日新聞, 2020年4月25日朝刊.

